

体育会 OB、OG 会主催特別講演会 元ボクシング世界王者 “神の左” 山中慎介 あの一戦を語る

2018年3月、惜しまれながら引退した山中慎介さん（H17 商卒）。プロに転向後、6年弱で無敗のまま2011年に第29代WBC世界バンタム級チャンピオンとなり、「神の左」と呼ばれる強烈な左ストレートを武器に5年9カ月の間王座に君臨、日本男子歴代2位の防衛記録12回を達成した歴史に残るボクサーだ。昨年10月26日（土）、生田キャンパスで、山中さんの講演会が実現。軽快な語り口で、学生やOB、OGが聴き入った。また、法学部・内藤光博教授による体育会のハラスメント防止に関する講演も行われた。



——ボクシングとの出会いをお聞かせください。

小学校中学校と野球をやっていたんですが、テレビで辰吉丈一郎選手の試合を見て憧れ、お年玉でサンドバッグを買いました。高校は、ボクシング雑誌で「南京都高校（現京都廣学館高校）インターハイ団体優勝」というのを目にして、そこに行きました。

——左ストレートは、その頃から自信があったそうですね。

高校に入った当初は、自分で右構えにしてたんです。それを、監督さんに左構えの方がバランスがいいと変えられて、でも僕は右が良かったんで翌日また戻すと、「なんでだ」と言われてまた変えて（笑）。結局は僕が折れました。すぐに左ストレートが自分の一番の武器になり、誰よりも練習しました。

——高校時代に国体で優勝し、専修大学へ入学。4年次にはボクシング部の主将を務めました。出場した国体での敗戦を機にプロ入りを決意したそうですね。

専修大学には申し訳ないんですけど、高校で日本一になって推薦をいただいたことでボクシングに対する気持ちが冷めてしまい、大学4年間は情熱があまり湧いてこなかった。4年生の最後に、これが最後の試合と思って、国体に出場しました。ただ、全く自分の思うような戦いができず、1回戦で負けてしまったんです。そのとき、「これで本当に僕のボ

クシング生活は終わるのか？このままだと絶対に後悔する」と思いました。それでまた熱意が湧いてきて、負けた日の夜に、プロで世界チャンピオンを目指そうと決意しました。大学で一生懸命頑張ってたなら、プロには進んでなかったかもしれないです。

——大学時代の思い出をお願いします。

主将だった4年生のときに関東大学リーグ戦2部で優勝できたのですが、その理由は、寮生活で仲間との絆を作れたからだと思うんです。ボクシングは一人対一のスポーツですけど、リーグ戦の場合、チームで7階級分の試合をするなかで4勝しなきゃいけない。仲間の励ましや、前の選手が頑張ったから自分も絶対に取りなきゃいけないって思いもあって、個人戦よりも団体のリーグ戦の方が強い選手が多かった。やっぱり毎日共に生活していることが活きましたね。あと、朝と夜に寮で出る飯は、栄養やバランスを考えて用意されたものです。若い頃はあまり意識していませんでしたけど、今思うと勝敗につながる大事なことですね。寮では別の競技の部員とも友達になり、知識を交換しあえたことにも大きな意味がありました。

——2018年3月26日、引退表明。体重超過という反則を犯して試合に臨んできたルイス・ネリに対してどのような思いがありましたか。

あの一戦から1年半以上経ちましたが、今でも

↓司会進行係はボクシング部
OB 会長・萩野谷詠昨さん



↓抽選で選ばれた来場者との記念撮影
& 質問コーナーも



↑来場者との記念撮影

思い出すと腹が立ってきますね。この一戦で最後にすると決めていた試合だったんで、前日の計量オーバーには本当に怒りがこみ上げてきて、思わず「ふざけるな！」と大声を上げてしまいました。必死で気持ちを切り替えている間も、知り合いや関係者から「あいつ、本当にふざけてるな」と怒りのメールが来て、その度に思い出して、腹立って（笑）。それでも試合当日はしっかり調整できたつもりですし、実力で負けたのかなと思います。

最後は2連敗しましたが、夢だった世界チャンピオンにもなれました。世界チャンピオンになったときは、気持ちが冷めてしまうことが怖かったんですけど、モチベーションを維持できたのは、新たな目標を持てたから。統一戦とか、ラスベガスで試合をしたいとか、そういった思いがあったからこそ頑張ってきた。

また、世界チャンピオンになったときには自分のためにしか戦っていなかったんですけど、初防衛戦後に家族ができて、応援してくれる人もたくさん増えました。大学の関係者にもたくさん応援に来ていただいて、それが力になりました。本当に、一人で戦っているわけではないということが僕を強くしました。僕の財産は、記録はもちろんですけど、仲間を作れたことです。対一のスポーツでありながら、人と人との関係は大事だなと実感しました。

体育会の
ハラスメント防止
について